

IR（統合型リゾート）に関する情報提供依頼 報告書

令和2年3月

はじめに ー 本報告書の趣旨 ー

千葉市は、「グローバルMICE都市」として、積極的に国際会議や展示会等の誘致に取り組んできました。今後も本市がグローバルレベルのMICE誘致力を有する都市であり続けることは、本市や本市を核とする圏域経済を維持・発展させていくために必須の要素であると考えており、その有力な方策の一つであるIRについて検討を行ってきました。

本市は、特定複合観光施設区域の整備のための基本的な方針（案）（令和元年11月）で示されたIRの認定申請期間に関するスケジュール案でのIRの誘致は行わないことを本年1月に決定しましたが、令和元年7月に実施したIRに関するコンセプト、経済効果、事業性、懸念事項への取組み等に関する民間事業者（以下「事業者」）への情報提供依頼について、10月に情報提供された結果を本報告書にまとめ、公表するものです。

報告書では、IRに関する知見を有する「PwCコンサルティング合同会社」への業務委託により、事業者から寄せられた情報の取りまとめ、経済効果・事業性の試算を実施しています。なお、試算は、事業者からの情報との比較対象として指標を設けるために行ったものであり、本市においてIRが実現した場合の経済効果等を試算したものではありません。

報告書の構成

- 1 情報提供依頼の趣旨及び概要
- 2 情報提供依頼の結果
 - (1) 本市のMICE誘致力に対する評価
 - (2) 本市におけるIRのイメージ
 - (3) 本市におけるIRの経済的効果等
 - (4) 本市におけるIRの事業性
 - (5) 本市におけるIRに伴う懸念事項とその最小化に向けた取組
- 3 総括

1 情報提供依頼の趣旨及び概要

1 情報提供依頼の趣旨及び概要

趣旨

- 本市は、これまで「グローバルMICE都市」として積極的に国際会議や展示会等の誘致に取り組んできました。
- 本市が今後もグローバルレベルのMICE誘致力を有する都市であり続けることは、本市や本市を核として広がる圏域経済を維持、発展させていくために必須の要素です。
- グローバルなMICE誘致力の強化に向けた方策の一つとして、国際会議場や展示施設、魅力増進施設、送客施設等を民間事業者が一体的に整備・運営する「IR」があります。
- 本市においてIRを導入する・しないの判断をするにあたり、本市におけるIRの事業性、コンセプト、経済的効果等やIRに伴う懸念事項とその最小化に向けた取組等について、民間事業者の皆さまから情報やアイデアを提供いただくために実施したものです。

※MICEとは

- 企業等の会議（Meeting）、企業等の行う報奨・研修旅行（インセンティブ旅行）（Incentive Travel）、国際機関・団体、学会等が行う国際会議（Convention）、展示会・見本市、イベント（Exhibition/Event）の頭文字のことで、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称です。

※IR（統合型リゾート）とは

- 特定複合観光施設区域整備法（IR整備法）に規定された「特定複合観光施設」で、国際会議場、展示施設、観光の魅力を増進する施設（伝統、文化、芸術等）、送客施設（観光情報の提供、宿泊手配等）、宿泊施設とカジノ施設が一体で構成され、民間事業者により設置・運営されるものです。

1 情報提供依頼の趣旨及び概要

情報提供依頼の概要

【情報提供書受付期間】

令和元年10月15日から令和元年10月28日まで

【基本条件】

- (1)本市ではIRを導入する・しないについて判断していないこと。
そのため、今後の具体的な手続きやスケジュール等を想定していないこと
- (2)本件が本市のIR導入を保証するものではないこと
- (3)下記に適合する情報やアイデアを提供すること
 - 特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律
 - 特定複合観光施設区域整備法（IR整備法）
 - 特定複合観光施設区域整備法施行令（IR整備法施行令）
- (4)IR整備法第2条第2項に定める特定複合観光施設区域として想定する区域は千葉市内とすること
- (5)情報依頼項目の全ての項目について、情報提供すること

【情報提供事業者】

- 全8者（下記は社名公表が可能な者）
- Bloomberry Resorts Japan株式会社
 - 株式会社ちばの未来MICE・IR

1 情報提供依頼の趣旨及び概要

情報提供依頼項目

下記の（１）から（５）の全ての項目について情報提供を依頼

- (1) 本市のMICE誘致力に対する評価
 - 本市の現状を踏まえた上でどのように考えるか
 - ア MICEに関する本市の魅力
 - イ MICEに関する本市の優位性
 - ウ MICEに関する本市の課題
 - エ 本市のMICE誘致力を向上させる方策としてIRが適切と考えるか、またそのように考える理由
- (2) 本市におけるIRのイメージ
 - 本市のMICE誘致力を強化するIRとはどのようなものであるか
 - ア IRのコンセプト
 - イ 立地場所、またその場所を選定した理由
 - ウ ゾーニング
 - エ イメージパース
 - オ IR整備法第2条第1項に定める特定複合観光施設の機能や規模
- (3) 本市におけるIRの経済的効果等
 - 本市にIRを設置した場合に本市及び千葉県に与える経済的効果等について

1 情報提供依頼の趣旨及び概要

情報提供依頼項目

- (4) 本市におけるIRの事業性
 - 本市にIRを設置した場合のIRの事業規模等を把握できる事業性について

- (5) 本市におけるIRに伴う懸念事項とその最小化に向けた取組
 - 本市にIRを設置した場合の懸念事項とその最小化に向けた取組みについて
 - ア ギャンブル等依存症対策
 - イ 青少年の健全育成に関する取組
 - ウ マネー・ローンダリングの防止に関する取組
 - エ 反社会的勢力の排除に関する取組
 - オ 交通渋滞の発生等による生活環境悪化の防止に関する取組
 - カ 治安悪化の防止に関する取組

2 情報提供依頼の結果

2 情報提供依頼の結果

(1)本市のMICE誘致力に対する評価

ア MICEに関する本市の魅力

イ MICEに関する本市の優位性

幕張メッセについて

- ・ 展示施設が平面に広く、使いやすい
- ・ 運営事業者の歴史が長く経験が豊富
- ・ 国内外で展示場としての認知度が高い

アクセス性について

- ・ 成田・羽田という国内の2大国際空港へ好アクセス
- ・ 東京に容易にアクセスできる
- ・ 高速道路ネットワークが充実

参考：幕張メッセ

■ 1989年開業

■ 施設構成

①国際展示場

有効面積 72,000㎡

②国際会議場

収容人数（最大会議室/全体）

約1,700人/約4,500人

③イベントホール

9,000人収容



(国際展示場)

誘致能力について

- ・ 経験豊富なコンベンションビューローが存在
- ・ グローバルMICE都市として、他都市との連携が可能

2 情報提供依頼の結果

(1)本市のMICE誘致力に対する評価

ア MICEに関する本市の魅力

イ MICEに関する本市の優位性

MICEのコンテンツとの親和性について

- ・ 科学研究施設や医療、バイオ関連の研究開発産業が盛ん
- ・ 千葉県は農林水産業が盛んであり、豊富な産物と提携することが可能

市場性について

- ・ 人口、経済規模の大きい首都圏に位置
- ・ 高い経済力を誇る東京と近接

観光資源・その他について

- ・ 周辺にアフターコンベンションに資する観光資源がある
- ・ 幕張新都心にビジネス、商業施設、文化、スポーツ、レクリエーション施設、居住地域などの統合された施設が集積している
- ・ 幕張メッセ周辺に宿泊施設がある
- ・ 千葉市以外にも県内に食産物等の観光資源やゴルフ場といったレジャー施設がある
- ・ 社会実験等が行われ産業育成に熱心

参考：首都圏・東京圏の人口と経済指標

■ 首都圏人口

平成30年度：約4,400万人（対全国約34.9%）

■ 首都圏の県内総生産合計

平成27年度：約210兆円（対全国約39.6%）

■ 東京圏

平成30年度：約3,700万人（対全国約28.9%）

■ 東京圏の県内総生産合計

平成27年度：約180兆円（対全国約33.6%）

出典：国土交通省「平成30年度首都圏整備に関する年次報告（令和元年版首都圏白書）」、総務省統計局「人口推計」、内閣府「平成28年度県民経済計算について」を基に作成

※首都圏：東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、茨城県、栃木県、群馬県、山梨県

※東京圏：東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

2 情報提供依頼の結果

(1)本市のMICE誘致力に対する評価

ウ MICEに関する本市の課題

MICE施設について

- ・ 幕張メッセの建物・設備の老朽化
- ・ MICE施設が不足
 - － 例：会議場が小さい
 - 展示場の面積が海外と比較し小さい

MICE運営について

- ・ 自らのリスクと資本でイベントを開催する著名なPCO（会議運営事業者）等が存在しない
- ・ 価格の弾力性がない（需要・供給に合わせた価格設定や、戦略的な誘致活動に伴う価格設定等）

参考：

海外の主要な展示場の比較

施設名	展示等面積(万㎡)	都市
幕張メッセ	7.2	千葉
ハノーバー国際見本		
市会場	46.6	ハノーバー
国家会展中心	40.4	上海
フェア・ミラノ国際見		
本市会場	34.5	ミラノ
インバクト	14.0	バンコク
キンテックス	10.9	高陽
シンガポールエキスポ	10.2	シンガポール

出典：一般社団法人 日本展示会協会資料を基に作成

国内の主要な展示場の比較

施設名	展示等面積(㎡)
幕張メッセ	72,000
東京ビッグサイト	115,420
インテックス大阪	70,078
Aichi Sky Expo	60,000
ポートメッセなごや	33,946
パシフィコ横浜	20,000
石川県産業展示館	17,718
西日本総合展示場	16,517
神戸国際展示場	13,600
マリノメッセ福岡	
+福岡国際会議場	13,540

出典：特定複合観光施設区域整備推進会議資料を基に作成

国内の主要な会議場の比較

施設名	最大会議場 収容人数(人)
幕張メッセ	1,664
東京国際フォーラム	5,012
パシフィコ横浜	5,002
シーカ・イコパ・セッションセンター	3,300
名古屋国際会議場	3,012
福岡国際会議場	3,000
大阪府立国際会議場	2,754

2 情報提供依頼の結果

(1)本市のMICE誘致力に対する評価

ウ MICEに関する本市の課題

立地面について

- 東京からの鉄道本数が少ない（幕張新都心）
- JR京葉線への依存度が高い（幕張新都心）
- 高速道路の渋滞（幕張新都心）
- 海上のアクセス性（幕張新都心）
- 観光地としての認知度の不足

アフターコンベンション施設について

- 幕張新都心のホテル客室数が少ない
- 富裕層を対象とした施設の不足
- 幕張新都心周辺のエンターテインメント施設の不足
- 外国の要人を迎えられる宿泊施設がない
- MICE施設周辺の飲食施設の不足

参考：エリア別のホテル・旅館客室数

施設名	客室数(室)
東京都心3区 (千代田区、中央区、港区)	56,201
大阪市	80,393
横浜市	18,897
みなとみらいエリア※	5,591
千葉市	10,490
幕張新都心※	3,241

出典：政府統計「平成30年度衛生行政報告例」、
東京都「東京都の地域別宿泊施設数」（平成30年）を基に作成
※幕張新都心及びみなとみらいエリアは主要なホテル
客室数を各社ウェブサイト等による現時点推計

2 情報提供依頼の結果

(1)本市のMICE誘致力に対する評価

Ⅰ 本市のMICE誘致力を向上させる方策としてIRが適切と考えるか、またそのように考える理由

MICE誘致力について

- 全ての事業者が、IRがMICE誘致力を向上させる旨の意見

IRがMICE誘致力を向上させると考える理由について

- IRの収益を活かし、MICE施設、アフターコンベンション施設等を一体的に整備することにより、様々な課題解決が可能

《MICE》

- MICE施設の建替え、修繕、維持管理が可能
- 民間整備、民間運営により柔軟な価格設定を行うことが可能
- 海外の事業者を誘致することにより、国際的なMICE運営能力を高めることが可能

《アフターコンベンション施設》

- 多様な宿泊施設、エンターテインメント施設、飲食物販施設を集積させることが可能
- 多様な世代の集客を行うことが可能
- ホテル客室数の不足への対応

2 情報提供依頼の結果

まとめ (1) 本市のMICE誘致力に対する評価

- 事業者からは本市のMICE誘致力は高く評価されました。
- 空港や東京からのアクセス性、大規模な市場性を有する恵まれた立地環境であることが評価点として挙げられています。
- 幕張メッセは大規模な展示場施設を有しており、その構造的な利便性や長年MICE誘致を行ってきた運営実績が事業者に評価されていました。
- 観光資源については、本市及び千葉県は周辺に多様な施設や観光資源を有していると評価されていたものの、MICE参加者に対する訴求力が低いことが課題点として挙げられました。具体的には施設周辺にMICEの誘致力を高める滞在型観光に適したエンターテインメント施設や宿泊施設、飲食施設等のアフターコンベンション機能が不足しているとの意見がありました。
- 幕張メッセは認知度や利便性のある施設として評価される一方で、施設の老朽化や国際的には小規模であること等の課題が挙げられ、それらの課題については、IRの高い収益性により解決が可能との見解が示されました。
- 交通インフラに関する課題の解決については、さらなる検討が必要と考えます。
- IRは、MICE施設だけではなく、宿泊、飲食、エンターテインメント、文化施設等の多様な施設が統合・集積するため、アフターコンベンション機能が強化され、MICEの誘致力を向上させるとの意見が寄せられました。

2 情報提供依頼の結果

(2)本市におけるIRのイメージ

ア コンセプト

海辺空間を活用し、スポーツ、文化、エンターテインメント等を取り入れた都市型リゾートというコンセプトが多く提案されました

イ 立地場所、またその場所を選定した理由

立地場所について

- 全ての事業者が、幕張新都心エリア内を選択

選定理由について

- 大規模MICE施設を設置可能な敷地面積を確保できる
- 既に幕張メッセがある
- 更地及び公共所有の敷地が多い
- 交通アクセスが良い
- 海に面したロケーションで景観が優れており、IRの設置に適している
- 住宅地から一定の距離がある

参考：幕張新都心について

■特徴

- 1989年に幕張メッセのオープンでスタート
- 「職・住・学・遊」の複合機能の集積が進み、日々、約23万人が活動する街
- 東京駅へJR京葉線で最短30分、成田空港・羽田空港へは車で最短30分~40分

■主な集客施設

- 幕張メッセ
- Z O Z O マリンスタジアム
- イオンモール幕張新都心

2 情報提供依頼の結果

(2) 本市におけるIRのイメージ

オ IR整備法第2条第1項に定める特定複合観光施設の機能や規模

用途	規模・概要
全体	<ul style="list-style-type: none"> 約70万㎡～150万㎡（延べ床面積）
MICE施設	<ul style="list-style-type: none"> 国際会議場 最大の会議室の収容人数 約1,700人（現況程度）～1万人 展示場 約6万㎡～25万㎡
魅力増進施設	<ul style="list-style-type: none"> 日本の伝統、文化、芸術等を生かした講演、食文化、芸術展示 等 ※現段階では規模や施設の内容の詳細を提示することは困難との意見
送客施設	<ul style="list-style-type: none"> VRやARを用いて日本各地を案内する施設 旅行代理店やDMO※等と連携したコンシェルジュ AIを活用した趣味趣向に応じた観光プランの提供 等 <p>※DMO:観光物件、自然、食、芸術・芸能、風習、風俗など当該地域にある観光資源に精通し、地域と協同して観光地域作りを行う法人のこと</p>
宿泊施設	<ul style="list-style-type: none"> 客室数約1,500室～6,000室
その他施設	<ul style="list-style-type: none"> 屋内型スポーツ施設、屋外型スポーツ施設 屋内型テーマパーク、シアター、サーカス、アトラクション ショッピングモール ナイトクラブ、海辺施設 等

（参考）施設の主な要件（IR整備法施行令）

■ MICE施設：国際会議場・展示場

国際会議場		展示場
全体の収容人数	最大会議室の収容人数	
最大会議室の倍以上	① 1千～3千人	Ⓐ 12万㎡～
	② 3千～6千人	Ⓑ 6万㎡～
	③ 6千人～	Ⓒ 2万㎡～

・要件を満たす組み合わせ

①Ⓐ、②Ⓐ、②Ⓑ、③Ⓐ、③Ⓑ、③Ⓒ

■ 魅力増進施設

- 我が国の観光の魅力の増進に資する劇場、演芸場、音楽堂、競技場、映画館、博物館、美術館、レストランその他の施設

■ 送客施設

- ショーケース機能、コンシェルジュ機能
- 多言語対応機能を整備

■ 宿泊施設

- 客室の合計面積が概ね10万㎡以上

■ カジノ施設

- カジノ行為区画はIR施設の床面積の合計の3%以内

※上記は主な意見を集約したものであり、事業者の全ての意見ではありません。

2 情報提供依頼の結果

(2)本市におけるIRのイメージ

ウ ゾーニング

- 幕張メッセ駐車場、幕張メッセ、幕張海浜公園F・Gブロックを中心に提案がありました
- 附带施設として、幕張の浜や海上の使用に関する提案も見られました



※上記は主な意見を集約したものであり、事業者の全ての意見ではありません。

2 本市におけるIRのイメージ

(2)本市におけるIRのイメージ

エ イメージパース



リゾート型のIRが多く示され、具体的には、都市型リゾート、海辺空間を活用したリゾート、スポーツやエンターテインメントを中心としたリゾート等が挙げられました

2 情報提供依頼の結果

まとめ (2) 本市におけるIRのイメージ

- 全ての事業者が幕張新都心への立地を想定しました。事業者の意見によれば、立地の良さや経済的なポテンシャルだけでなく、これまでの幕張新都心におけるMICEの実績が評価されていることがわかりました。
- コンセプトは、海辺の立地環境を活かしたものと都市型のリゾートに関するものがあり、幕張新都心の特徴を活かした内容であると考えられます。
- 施設全体では、約70万㎡~150万㎡の延床面積の提案がなされ、海外の既存のIRと比較して同程度から大規模なものが示されました。

参考：マリーナベイサンズ（シンガポール）：約60万㎡、ベラッジオ（ラスベガス）：約45万㎡、

サンズ・コタイ・セントラル（マカオ）：約112万㎡ 出典：特定複合観光施設区域整備推進会議資料

- MICE施設については、展示場を12万㎡以上の規模とし、展示会・見本市に注力する考えが多く示されました。また、一度に展示場の全ホールを使用するような大規模イベントが頻回に開催されることは現実的ではなく、複数イベントの同時開催が想定されていました。
- 国際会議場については、最大の会議室の収容人数が3,000人以上6,000人未満の規模が多く示されました。
- 宿泊施設については、ハイクラスホテルが多く提案されました。客室数については、IR区域外の宿泊施設との共存によりニーズを満たしたいとの意見も聞かれました。
- IR来場者を県内の観光地や文化・スポーツ施設へ送客するといった、IR区域だけでなく千葉県全体の観光振興につなげる考え方が示されました。
- 既存施設については、ZOZOマリンスタジアムの建替えや幕張メッセの建替えを伴う提案がありましたが、事業を具体化する中でさらなる検討を要するという意見が大勢でした。

2 情報提供依頼の結果

(3) 本市におけるIRの経済効果等 (4) 本市におけるIRの事業性

想定訪問者数・投資規模・売上規模のイメージ

【IR区域全体 年間延べ訪問者数】

・約2,000万人～4,000万人

【カジノ施設 年間延べ訪問者数】

・約500万人～3,000万人

【インバウンド割合】

・約1割～2割

参考：2016年の年間入場者数

- ・東京ディズニーリゾート：約3,000万人
- ・ユニバーサル・スタジオ・ジャパン：約1,460万人

出典：各施設運営企業公表資料

【建設投資額】

・約4,500億円～7,500億円

【全体売上】

・約4,500億円～6,500億円

雇用創出・税収効果の考え方

【雇用創出】

・施設運営時の雇用

直接雇用：約1万人～5万人

間接雇用：約1万人～2.5万人

【税収効果】

・認定都道府県等入場料納入金^{※1}
約100億円～750億円

・認定都道府県等納付金^{※2}
約500億円～700億円

※1 日本人等の入場者に対し、3千円/回（24時間単位）

※2 カジノ行為粗収益の15%

※上記は主な意見を集約したものであり、事業者の全ての意見ではありません。

2 情報提供依頼の結果

(3) 本市におけるIRの経済効果等 (4) 本市におけるIRの事業性

MICE誘致について

【国際的な会議】

- ・医療、テクノロジー、科学、芸術・アート等の国際会議について、国内各地の開催状況をみながら強化
- ・我が国で近年開催されていない世界的な会議を積極的に誘致

【国際的な展示会その他催し】

- ・テクノロジー、スポーツ、eスポーツ、音楽、ゲーム、アニメ等の展示やイベントを開催
- ・関係団体等と連携し、新規・大型イベントを推進

文化・スポーツ施設と連携した賑わい創出や魅力向上のための取組について

【文化・スポーツ施設等】

- ・市民・県民向けのイベント開催
- ・様々な施設との相乗効果を最大化する施策の検討

【地域への送客】

- ・県内の主要な観光地への円滑な送客
- ・IR区域内で付与したポイントを周辺の商業施設等と連携させ、消費を促進

2 情報提供依頼の結果

IRの誘致について検討を行った他都市との比較

項目		北海道 (苫小牧市)	横浜市	大阪府・大阪市	和歌山県 (和歌山市)	長崎県 (佐世保市)	千葉市	
人口・経済規模	人口 (H30.10.1時点)	道府県	529万人	918万人	881万人	94万人	134万人	626万人
		圏域*	-	4,418万人	2,314万人	2,314万人	1,286万人	4,418万人
	総生産 (H28年度)	道府県	18兆円	34兆円	38兆円	4兆円	4兆円	20兆円
		圏域	-	211兆円	93兆円	93兆円	44兆円	211兆円
IRの経済効果・事業性	延床面積		-	約67万~150万㎡	100万㎡	約46万㎡	-	約70万~150万㎡
	訪問者数(年)		860万人	約800万~5,200万人	1,500万人	約400万人	約740万人	約2,000万~4,000万人
	雇用人数		21,000人 (就業誘発人数)	建設時: 約4.3万~10万人 運営時: (直接雇用) 約1万~5.6万人 (間接雇用) 約0.7万~14.9万人	建設時:7.5万人 運営時:8.8万人	運営時:約2万人	建設時:約3.8万人 運営時:約2.2万人	運営時: (直接雇用) 約1万~5万人 (間接雇用) 約1万~2.5万人
	投資見込		2,800億~3,800億円	約6,200億~1.3兆円	約9,300億円	2,799億円	約3,200億~5,500億円	約4,500億~7,500億円
	売上見込(年)		1,562億円	約3,500億~8,800億円	4,800億円	-	-	約4,500億~6,500億円
	都道府県等入場料納入金(年) 都道府県等納付金(年)		234億円 (納付金等)	約600億~1,400億円 (納付金、入場料、他)	入場料130億円 納付金570億円	入場料73億円 納付金210億円	-	入場料 約100億~750億円 納付金 約500億~700億円

出典：総務省統計局「人口推計」、内閣府「平成28年度県民経済計算について」、**北海道**「IR(統合型リゾート)に関する基本的な考え方」(H31.4)、**横浜市**「IR(統合型リゾート)等 新たな戦略的都市づくり検討調査(その4) 報告書」(H31.3)、**大阪府・大阪市**「大阪IR基本構想(案)」(H31.2)、**和歌山県**「和歌山県IR基本構想(改訂版)」(H30.10)、**長崎県・佐世保市IR推進協議会**「九州・長崎IR基本構想(案)」(R1.10)、「長崎IR基本構想有識者会議取りまとめ」(H30.4)を基に作成

※圏域：首都圏(東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、茨城県、栃木県、群馬県、山梨県)

近畿圏(福井県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県)、九州圏(福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県)

2 情報提供依頼の結果

まとめ（3）本市におけるIRの経済効果等（4）本市におけるIRの事業性

- 今回の情報提供依頼は、前提条件を定めず広く情報を募っているため、施設規模、土地や既存施設の取扱い等が異なる情報が提供されており、提供された経済効果等にも幅が生じています。また、前提条件が定まっていない段階では具体的な経済効果等を示すことが困難との意見もありました。
- 経済効果・事業性については、条件の異なる情報であるため、事業者ごとに分析するのではなく、提案内容全体と委託業者による試算との比較を行いました（次頁参照）。試算は、現時点における広域の商圈人口や宿泊者数、富裕層人口等の統計情報や参考となる文献及びレポート等をもとに行っています。なお、今回の試算は事業者からの情報との比較対象として指標を設けるために行ったものであり、本市においてIRが実現した場合の経済効果等を試算したものではありません。
- 事業者から提案された経済効果や事業性は、今回委託業者が試算した結果と比較し同程度から高めの水準となりましたが、著しい乖離は見られませんでした。
- MICE誘致施策への効果について、幕張メッセの実績やポテンシャルを継承し、積極的に多様な会議やイベントの誘致を試みる姿勢が示されました。
- 事業者からは、幕張新都心を想定したIRの来場者見込みや収益見込みが示され、幕張新都心エリアにおけるIRが十分成立し得ることが示されましたが、経済効果や投資額は施設規模等によって変動すると考えられることから、経済効果・事業性の精度を高めるには、前提条件を整理した上で精査することが必要です。

2 情報提供依頼の結果

まとめ（3）本市におけるIRの経済効果等（4）本市におけるIRの事業性

事業者提案

【IR区域全体 年間延べ訪問者数】

- ・約2,000万人～4,000万人
(インバウンド割合：約1～2割)

【カジノ施設 年間延べ訪問者数】

- ・約500万人～3,000万人

【全体売上】

- ・約4,500億円～6,500億円

【建設投資額】

- ・約4,500億円～7,500億円

【税収効果】

- ・認定都道府県等入場料納入金
約100億円～750億円
- ・認定都道府県等納付金
約500億円～700億円

委託業者による試算

【IR区域全体 年間延べ訪問者数】

—

【カジノ施設 年間延べ訪問者数】

- ・約630万人
(インバウンド割合：約1割)

【全体売上】

- ・約3,500億円

【総投資規模】

- ・約4,500億円～7,000億円

【税収効果】

- ・認定都道府県等入場料納入金
約200億円
- ・認定都道府県等納付金
約400億円



■ 試算について

- ・試算は、事業者提案との比較対象として指標を設けることを目的に行うものとする
- ・現時点における広域の商圈人口や宿泊者数、富裕層人口等の統計情報や参考となる文献及びレポート等をもとに来場者数や売上を試算する
- ・IR全体の来場者数については、施設規模やコンテンツ・サービスの内容や水準によるところが大きいいため、今回の分析では試算しないこととする
- ・総投資規模は、年間想定収益から投資回収期間を考慮したものとし、仮定として土地は購入するものとして取り扱う

2 情報提供依頼の結果

(5) 本市におけるIRに伴う懸念事項とその最小化に向けた取組

ギャンブル等依存症等対策について

【ギャンブル等依存症対策】

- ・内部管理体制、従業員教育の徹底
- ・排除プログラムの導入と入場規制
- ・広告規制の徹底
- ・相談窓口の設置
- ・依存症治療プログラムの開発・導入
- ・ギャンブルの影響に関する啓蒙活動

【青少年の健全育成】

- ・広告に関し青少年の目に触れないようにする
- ・警備員の配置を徹底

犯罪等対策について

【マネー・ローンダリング防止】

- ・高額取引のレポート、顧客特定や新たな方策（周辺ATM等の限度額や顔認証などの導入）
- ・チップにICタグを導入し管理を徹底
- ・AIによる疑わしい取引の特定

【反社会的勢力の排除】

- ・警察、監督官庁と連携した監視体制
- ・データベースの共有と連携、問題ある人物の特定
- ・他のIR事業者との情報共有

2 情報提供依頼の結果

(5) 本市におけるIRに伴う懸念事項とその最小化に向けた取組

周辺への負荷について

【交通渋滞の発生等による生活環境の悪化の防止に関する取組】

- ・JR京葉線と東京臨海高速鉄道りんかい線の相互直通運転の開始による利便性強化
- ・幕張新都心は高幅員道路が整備されていることから、次世代型路面電車システム（LRT）の導入の検討可能性
- ・羽田空港との海上交通によるアクセス性強化
- ・多様なモビリティ（MaaS）の活用

【治安悪化の防止】

- ・警備員の適正配置
- ・防犯カメラの設置
- ・警察との連携
- ・地域と連携した治安対策の実施

2 情報提供依頼の結果

まとめ (5) 本市におけるIRに伴う懸念事項とその最小化に向けた取組

- IR区域の各施設については、センサーや警備員の配置等、徹底した安全対策が可能であるとの意見が示されました。
- IRはカジノ施設を含むため、ギャンブル等依存症対策や青少年への影響については海外の事例や最先端技術を活用し、早期発見や予測を行うことで対応を図っていく姿勢が見られました。
- 反社会的勢力やマネー・ローンダリングの対策については、事業者単体では対応が困難であることから、積極的に行政機関や国際機関と協力していくという姿勢が示されました。
- IR施設は広大で大勢の来場者が訪れることから、周辺への悪影響については、地方自治体、警察、地域との連携を積極的に図り、対応を行っていく必要があるとの見解が示されました。
- 周辺交通への影響等については事業者から懸念点が示されました。幕張新都心エリアは高幅員道路が整備されているものの、広域の自動車交通網を考慮した場合は自家用車以外の公共交通機関の強化は不可欠であるとの意見がありました。例えば、鉄道の輸送力強化や船によるアクセス性の向上、バス輸送力の強化等が一例として挙げられました。

3 総括

3 総括

事業者から提供された情報の要旨と本市の確認

(1) MICEの誘致力評価	(2) IRのイメージ	(3) IRの経済効果等	(4) IRの事業性	(5) 懸念事項と最小化方策
これまでの実績や利便性などが評価される一方で施設の老朽化や周辺の付帯施設の不足について言及	幕張新都心エリアで幕張メッセやスタジアム、幕張海浜公園を再整備する海辺型・都市型のリゾート案	国際的なMICEコンテンツを誘致する姿勢が示されるなど、国内でも有数の大施設による訪問者・雇用創出等について提示	幕張新都心でのIRを想定した、建設投資額やIR全体の売上等について提示	法令等を踏まえた各種取組み案が示され、関係機関との連携についても言及

幕張新都心でのIRにより、MICE誘致力が向上する可能性があることを確認

経済効果や事業性については、委託業者による試算結果と比較し、著しい乖離はないことを確認

先端技術活用の可能性や関係機関への協力姿勢を確認

事業者から得られた情報では、幕張新都心エリアにおけるIRが十分成立し得ることが示されましたが、IRを誘致をするとした場合には、前提条件を整理した上で経済効果や事業性、懸念事項対策等について更なる精査が必要